

## ステークホルダーの皆さまへ

当社グループは、「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念のもと、グローバル展開する精密機器メーカーです。1918年の創業以来、挑戦し続ける「開拓者精神」と、社会とともに発展する「共存共栄精神」の2つの創業者精神を受け継ぎ、持続可能な「なめらかな社会」の実現を目指しています。

主力商品であるベアリング(軸受)は、自動車や航空機、鉄道車両、各種産業機械などあらゆる機械の回転を支え、産業の発展に貢献しています。さまざまな産業で変革が進む中、エネルギーロスを極限まで低減し、省エネルギーに貢献するベアリングは、未来の私たちの暮らしにも必ず必要となる技術であり、地球環境に貢献し続けることが我々の使命です。その使命を果たす長期ビジョンとして、企業価値を高め、ステークホルダーの皆さまから信頼、必要とされる企業を2035年度の姿と設定し、バックキャストした経営戦略に基づく施策を日々実践しています。

統合報告書「NTNレポート2025」は、2024年度からスタートした3年間の中期経営計画について、事業環境の変化に直面する状況下、経営陣の関与のもと、進捗を丁寧にご説明しました。詳細な活動内容は当社Webサイトのサステナビリティパートに集約し、いずれも誠実に情報開示していることをここに表明申し上げます。

2025年9月  
取締役 代表執行役  
執行役社長  
CEO(最高経営責任者)

鵜飼 英一



# 「なめらかな社会」の実現に向けた全体像

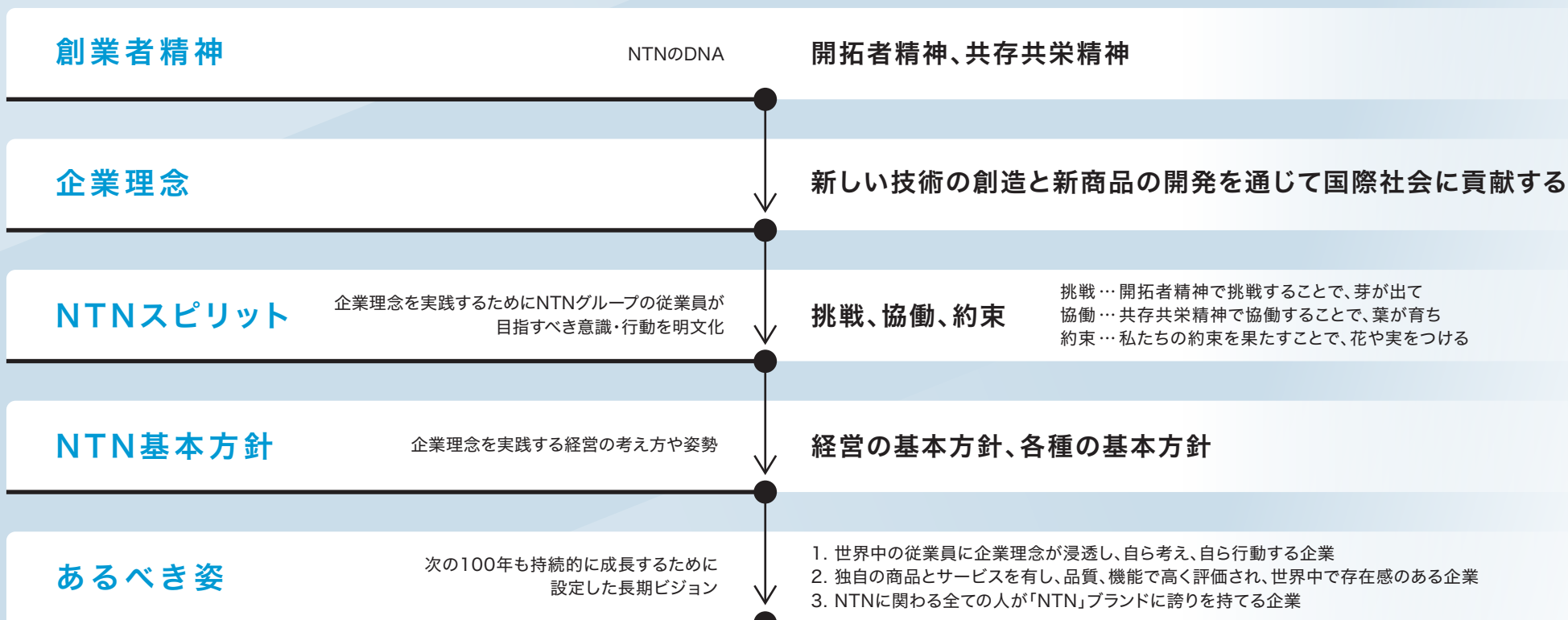
NTNが目指しているのは持続可能な「なめらかな社会」の実現です。

1918年の創業当初から大切にしてきた、挑戦し続ける「開拓者精神」と、社会とともに発展する「共存共栄精神」は、現在まで受け継がれ、NTNのDNAとして企業理念に込められています。

これらの創業者精神や企業理念をはじめ、「NTNスピリット」や「経営の基本方針」、「NTNのあるべき姿」などを通じて、持続可能な「なめらかな社会」の実現を目指していきます。

WEBサイトの関連情報

企業理念と  
「なめらかな社会」の実現



## 「なめらかな社会」の実現

「なめらかな社会」とは、人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる社会を意味しています。

# キーワードで読み解くNTNの歴史

NTNは1918年の創業以来、「開拓者精神」と「共存共栄精神」を大切に、それをDNAとして企業理念に込め、受け継いできました。品質第一主義と高い技術力を基盤に信頼を築きながら、100年以上にわたり発展してきた当社は、これからも新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献し、「なめらかな社会」の実現を目指します。ここでは、当社の100年を超える歴史を3つのキーワードで振り返ります。

## WEBサイトの関連情報

NTNグループの歴史



独創的な商品を生むNTN技術者たちの情熱と挑戦の物語  
THE CHALLENGE



## NTNの創業

1918年、若き技術者の西園二郎は三重県桑名に西園鉄工所を設立し、一方、大阪では丹羽昇が巴商会という機械工具商を経営していました。1922年、日本で沈没したスウェーデン船の積荷だったベアリングを巴商会が全量落札し、西園鉄工所に再生を依頼します。このベアリングの販売利益で研磨機を購入し、本格的なベアリング製造を開始しました。製造開始当初から丹羽(N)、巴(T)商会、西園(N)の頭文字をとったNTNのマークを使用していました。1927年、大阪市西区に資本金5万円で「合資会社エヌチーエヌ製作所」を設立し、1937年には社名を「東洋ベアリング製造株式会社」に変更して株式を公開しました。



丹羽昇



西園二郎



当時のベアリング

## キーワード 1 高い技術力と品質

1954年、日本の機械工業界で初めてデミング賞を受賞。統計的品質管理をいち早く導入し、全社で品質向上に取り組んだことが評価されました。1964年には初代0系新幹線に車軸用軸受を納入し、高速鉄道の高速度・軽量化を支える技術を提供。この軸受は後に「トライボロジー遺産」に認定されるなど、高い信頼を獲得しました。さらに2014年には「はやぶさ2」に球面すべり軸受を供給。太陽光パネルの展開機構を支え、宇宙空間でのミッション成功に貢献しました。これらの取り組みは、高品質で革新的な技術を追求める当社の姿勢を示しています。



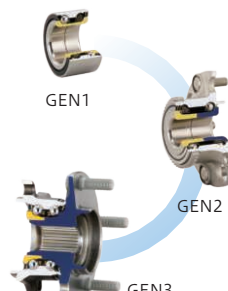
0系新幹線車軸軸受と軸箱カットモデル



「はやぶさ2」に採用された球面すべり軸受

## キーワード 2 シェアトップクラスの商品の開発

1963年、自動車向けの需要拡大を見据え、イギリスのハーディ・スパイサー社と技術提携を結び、桑名工場ドライブシャフト(CVJ:等速ジョイント)の生産を開始しました。また、1970年代後半には、現在世界トップクラスのシェアを誇るハブベアリングの前身であるアクスルベアリング(GEN1)を実用化。1980年代にはGEN1と周辺部品を一体化したハブベアリング(GEN2)を開発し、さらに車両組立ラインの効率向上を目指してハブボルトやフランジなどを一体化させたGEN3へと進化させました。1980年代半ばには日本国内で初めてGEN3の量産を開始し、現在もセンサー技術やさらなる組立性向上を追求しています。進化を続けるドライブシャフトとハブベアリングは、電動自動車においても重要な商品となっています。



GEN1

GEN2

GEN3

ハブベアリング



製造開始当初のドライブシャフト

## キーワード 3 グローバル化

1962年、ドイツ・デュッセルドルフに海外初の販売会社「NTN Wälzlager (Europa) G.m.b.H.」を設立。その後、アメリカ、フランス、イギリス、カナダにも販売会社を設け、1960年代に海外販売網を急速に拡大しました。1971年にはアメリカで「AMERICAN NTN BEARING MFG. CORP.」を、また日系企業として欧州初となる製造会社「NTN Kugellagerfabrik (Deutschland) G.m.b.H.」をドイツに設立するなど、完成品や前工程の工場を含む現地生産体制を強化しました。2008年にはフランスのSNR ROULEMENTSを子会社化(2023年にNTN Europe S.A.へ社名変更)し、欧州市場で事業基盤を拡大。さらに2011年、中国に「NTN中国技術センター」を設立し、日本、米州、欧州、中国の世界4極体制による研究開発を確立しました。このようにグローバル化を加速し、世界中のニーズに応える体制を築いています。



NTN中国技術センター

# NTNの商品戦略

軸受の市場規模は約5兆円と言われており、当社グループは総合軸受メーカーとして、さまざまな商品・サービスを提供しています。高い技術力と独自の開発体制およびサービス体制により、世界中のお客さまへ提供している当社グループの商品・サービスと付加価値を紹介します。

※2024年度日経シェア調査より

## WEBサイトの関連情報

ベアリングって何？

ベアリング製造工程動画  
「ベアリングができるまで」

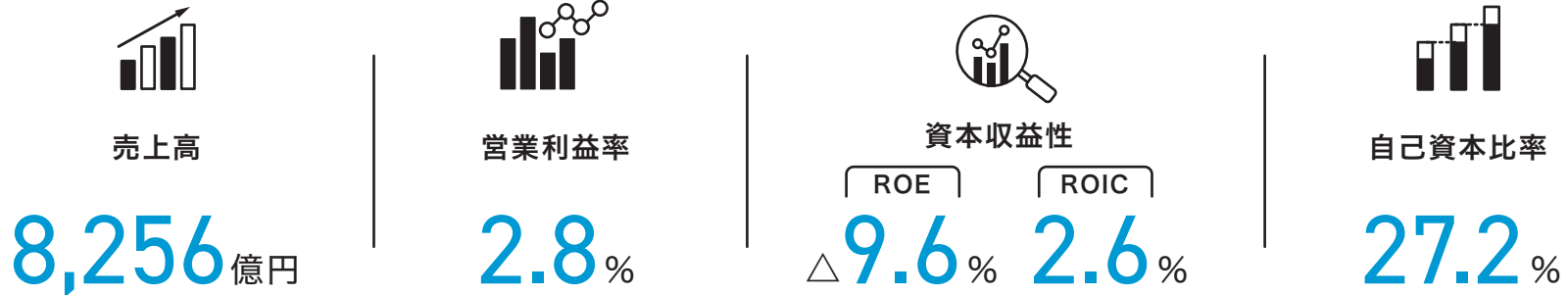


OEM向けは自動車市場や産業機械市場の各業種のお客さまに多種多様な商品を生納しています。モビリティの電動化やカーボンニュートラルへの対応、AIやデジタル技術の高度化などの新たなニーズに対して、高度な技術を通じて、新しい商品・サービスを提供しています。アフターマーケット向けはお客さまの機械や工場を止めない供給の即応性を高め、またお客さまの困りごとの解決に貢献しています。軸受診断や再生ビジネス、技術講習などのサービス、またセンサー付き軸受やNTNポータブル異常検知装置のようなモニタリング商品を通じて、専門性の高いエンジニアリング・ソリューションを提供しています。新事業では電動化対応に向けたモビリティ・モジュールや省人化対応に向けたロボット周辺モジュールなど、今後の市場成長ポテンシャルが高い領域へ貢献しています。外部機関との連携などを通じて先端技術を取り込み、開発スピードを加速させ、新たなモジュール商品やシステム商品の開発を強化しています。

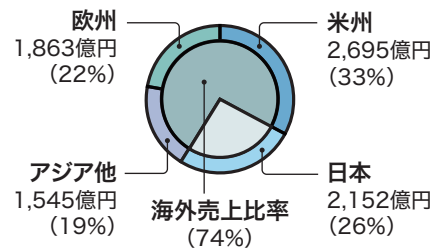


# 数字で見るNTN (2024年度)

At a Glance



## 地域別売上高 (海外売上比率)



\*2024年度より顧客地域別売上高から法人所在地別売上高(グループ内売上高除く)に変更



## 海外生産比率\*

59%

\*従来の算出方法を変更し、半製品を除いて算出



## 研究開発費

197 億円



## 設備投資額

322 億円



## CO<sub>2</sub>削減貢献量

188.9 万ト



## 従業員

従業員数: 21,996 名  
海外従業員比率: 62.4%



## 女性管理職比率

16.2%



## 男性育休取得率\*

73.0%

\*NTN単体